



沖縄県退職教職員会

会長 仲村勝彦

〒900-0015

那覇市久茂地3-9-23

教育会館内

☎ (098) 867-0161 (代)

FAX 098-863-2026

第49回定期総会

日時:7月9日(月)

総会・午後2時~4時

懇親会・午後4時~6時

場所:沖教組会館

電話 098-867-0161

総会への案内

多くの会員の参加を

心を一つに進もう

本会の第49回定期総会・懇親会が7月9日(月)の午後2時から沖教組会館3階ホールで開催されます。

安倍一強長期政権による政治の劣化は目を覆うばかりです。森友学園・加計学園・日

報問題等に見られるように、「記憶にない・記録にない・廃棄した」等と国民・国会に堂々とウソをつき、憲法を改悪し戦争のできる国づくりに突き進み、辺野古新基地建設をも強行しています。

県内では米軍がらみの事件・事故も相次ぎ、緑ヶ丘保育園には米軍部品の落下があり、普天間第2小学校にはヘリ窓が落下し、あわや大惨事となる所でした。子どもたちの安全・安心な教育環境が脅かされています。

このような状況下で本会の第49回定期総会は開催されます。多くの会員が参加して、有意義な総会・懇親会になりますようご案内いたします。

女性部 賑やかに 新春の集い

女性部の「第12回新春の集い」が、2月15日に「八汐荘」で開催され、約60人が参加しました。各支部からの余興や85歳のトウシビーを迎えられた左記の先輩たちに記念品の授与などが行われました。

- 玉那覇香代子さん(中頭)
- 仲地 美津子さん(中頭)
- 富山 ヨネ子さん(中頭)
- 伊波 末子さん(中頭)
- 新垣 純子さん(島尻)
- 知念 米子さん(島尻)



賑やかだった女性部新春の集い

九プロ研 in 沖縄 約100人が参加 辺野古特別決議も

日退教九州ブロックの第27回研修会・第40回定期総会が、3月7日・8日に那覇市の「八汐荘」を会場に開催され、県内外から約100人が参加しました。九プロの研修会・総会は各県持ち回りで、今回は沖縄県が担当でした。

1日目の開会行事では翁長知事からのメッセージもありました。講演会では北上田毅さん（辺野古抗議船船長・土木技師）による「辺野古新基地建設はいずれ頓挫する」の工事の現状と問題点と題し

て講演を行いました。大浦湾の埋め立て予定地には軟弱地盤がありそこを埋め立てるのは容易なことではないこと、また、活断層の存在も指摘されていて、工事はいずれ頓挫すると持論を展開しました。研修会の第2分科会では、本会八重山支部の宮良純一郎さんが「石垣島における『陸自ミサイル基地』配備に反対する住民運動」についてレポート報告を行いました。



「緑の山河」の大合唱

交流会には高退教の会員でもある新里米吉県議会議長から激励の言葉がありました。2日目は定期総会を開催し、第5号議案では辺野古新基地建設に反対する特別決議を全会一致で採択し、後日関係大臣に送付しました。

今回の九プロ研修会・総会には日退教の西澤清会長、日本教職員相互共済会の草野秀一理事長が2日間とも参加していたいただきました。西澤会長には中央情勢報告をしていただき、草野理事長には来賓あいさつをしていただきました。

日退教第9次沖縄交流

座り込みを共に

日退教の第9次沖縄交流が4月23日～24日にかけて行われ、県外から17人が参加しました。1日目は沖縄側との合同学習会を開催し、講演の前に日退教から沖縄両退

教にカンパの手交がありました。講演会では沖縄生物多様性（BD）ネット共同代表の伊波義安さんを講師に招き「普天間・辺野古・高江をとおして・・・沖縄の米軍基地と平和について考える」と題して話してもらいました。交流会では各県での闘いの状況などを述べ合い連帯を誓い合いました。

2日目は緑ヶ丘保育園、普天間第2小学校、嘉手納基地の視察後に辺野古の座り込み現場に向かい、県内外の皆さんと座り込み行動を共にしました。



座り込みの中に日退教の仲間達も

夜間中学校支援で

県教委・県議会へ要請

沖縄県教育委員会が珊瑚舎スコーレ夜間中学校への補助を平成29年度で打ち切るとの報道を受け、本会は支援継続を求めて立ち上がりました。

5月23日(水)、多くの報道陣が待ち構える中、午前10時30分から県教育長へ要請。本会からは3役・役員5人とボランティア講師3人が参加しました。県教委からは當間

正和参事ら数人が参加。初めに平安事務局長が要請文を読み上げ、支援継続を中心に4項目の要請をしました。要請に対し當間参事からは「何が出来るか、関係各課とも調整しながら検討したい」と述べました。

11時過ぎから県議会の新

里米吉議長に対し同様の陳情を行い、ボランティア講師から夜間中学校の様子等の報告をしました。新里議長は「文教厚生委員会のメンバーは党派を超えて一致していると聞いている。皆さんの要請の趣旨に合うような形になるのではないか」との見通しを示しました。



県教委への要請行動

要請文要旨

※戦後の歩みの中、生活の貧しさから十分な教育を受けられず、教育から取り残されてきた人たちの保障は、沖縄が抱える歴史から考えると、沖縄県が果たさなければならぬ責務だと思います。珊瑚舎スコーレ夜間中学校の開校以来、約90人が卒業し、30人が定時制高校等へ進学したと言われています。夜間中学校の皆さんにどれほど大きな喜びと自信を与えたことでしょうか。

※珊瑚舎スコーレで学ぶ生徒は2018年5月現在、14人が在籍しています。珊瑚舎スコーレへの支援は、戦後処理の一環として行われ、1932年(昭和7年)〜1941年(昭和16年)と年齢制限されてきましたが、現在でも該当者が5人学んでいます。2017年2月から施行された「教育機会

確保法」の精神を尊重し、義務教育未修了者の学ぶ権利を保障するために珊瑚舎スコーレ夜間中学校への支援を行うことを要請します。

平和行進

延べ5400人が

今年の平和行進は5月11日〜13日にかけて、炎天下の中県内外から延べ5,400人が参加しました。最終日に宜野湾市の海浜公園屋外劇場で開催された県民大会には3,500人が参加しました。



本会会員がのぼりのもとに